

～下記の研究を行います～

『血管内視鏡を用いた冠動脈内プラーク及びステント留置部の評価と予後に関する研究』

【研究責任者】循環器内科・医師 小杉隼平

【研究の目的】心臓カテーテル検査時に血管内視鏡検査をうけられた患者さんの冠動脈内プラークと、ステント留置部の新生内膜被覆状況、新生動脈硬化病変の性状、血栓付着割合などを評価し、予後への影響を明らかにすることで、今後の冠動脈疾患患者さんの最適な治療法の確立することを目的としています。

【研究の期間】研究許可日～2023 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2016 年 4 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに当院で血管内視鏡検査を受けた患者さん。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：

- ・血管内視鏡所見
- ・患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、薬歴、合併症など）
- ・血液検査データ（HbA1c、BUN、Cre、LDL-C、脂肪酸分画など）
- ・カテーテル検査、治療の内容
- ・予後など

【研究の資金源】なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 循環器内科 医師 小杉隼平